

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



2013.08.27

自然に学び
 自然を体験した
 子供達が体験の
 風運動をおこな
 として、
 新しい矢野川支流の発見 最後の夏休み
 水質調査でメダカが見え 調査でした。
 いた。水質も、PP魚も結構
 いる。メダカを発見採取した
 時にはうれしかった。
 子供達にとそれは新しい遊び場
 が出来た。またの名が環境教育でした。

ゆきつもどりつ
 成長のプロセスをゆ
 く子どもたち。
 子どもたちの成長の
 ためには教えるという
 行為がどうしても必
 要なのです。
 この教えるというこ
 は人類の多年にわた
 る研究や実践や社
 会生活の中で疑う余
 地なくたしかめられた
 科学や技術の基礎
 社会生活のモラルなど
 をしつかりと身に付け
 させるという事です。



2013.08.27

調査
 13: 8/27 10:46 29B

学力でも技術で
 もモラルでも何
 かが身につくた
 めには、一定の時間
 矛盾反復失敗
 ありとどろり、
 自問自答再起
 再挑戦といった
 葛藤の時間が
 必要だということ
 が必要です。
 フロセの中にある
 かぎり、まちがい
 つまずき失敗も
 大きな意味を持
 ちます。
 まちがいなな
 いそう深い学び
 の契機になるま
 なまちがひもある
 のです。
 子供達の教育は
 は特許の時間
 をつくることです。



2013.08.27



2013.08.27

子供達はよろこびました。
 新しい遊び場が見つかると